

**清流の国ぎふ  
2020地歌舞伎勢揃い公演**

ぎふ清流文化プラザを舞台に県下の地歌舞伎保存団体が順次演目を披露します。公演の様子はぎふ清流文化プラザYouTubeチャンネルでもご覧いただけます。

- 開催日/2021年6月27日(日)・7月11日(日)・7月25日(日)・8月8日(日)・8月29日(日)
- 会場/ぎふ清流文化プラザ(岐阜市)
- 料金/無料



[申込方法] ぎふ清流文化プラザ1階サービスカウンターにて、入場整理券を配布

問い合わせ先

(公財)岐阜県教育文化財団 TEL 058-233-8164

**tomoniアートサポータープレゼンツ展  
「わくわく惑星  
—みんなでつくる空想の星—」**

tomoniアートサポーターが企画から展示までを行う持ち寄り型の展示会を開催します。団体や個人、障がいの有無に関わらず、各所で制作された作品を展示します。

- 開催日/2021年6月12日(土)～7月25日(日)
- 会場/ぎふ清流文化プラザ(岐阜市)
- 料金/無料



昨年度の様子

問い合わせ先

岐阜県障がい者芸術文化支援センター (TASCぎふ) TEL 058-233-5377



**【高山陣屋歴史体験プログラム】  
ナイト陣屋**

行灯(あんどん)の光の中で夜の高山陣屋を体験する年に一度の催し。今回は企画展に合わせて江戸時代の料理に関するテーマで講座を開催します。

- 開催日/2021年8月26日(木)予定
- 会場/高山陣屋(高山市)
- 料金/無料
- 定員/未定



[申込方法] 公式ホームページでの告知参照

問い合わせ先

岐阜県高山陣屋管理事務所 TEL 0577-32-0643

**要・事前申し込み**

アートラボぎふの全プログラムは、完全予約制となっております。1人でも多くの方に参加・体験いただくために、参加の可否に関しては改めて事務局よりご連絡いたします。こちらの申込用紙に必要事項をご記入の上、FAXまたはメールにて「アートラボぎふ事務局」までお申し込みください。

FAX **0584-71-6130** EMAIL [artlabgifu@ne-planning.com](mailto:artlabgifu@ne-planning.com)

プログラム名		ご希望のプログラム名を記入してください(複数記入可)					
代表者	ご住所						
	お名前 <small>必須</small>	よみがな ( )	性別(自由記載)	年齢	歳		
	電話番号 <small>必須</small>	メールアドレス <small>必須</small>					
ご参加人数  名 <small>(代表者様も含めた合計人数)</small>	2名以上で参加される方はお連れ様全員のお名前(よみがな・性別(自由記載)・年齢をご記入ください)	よみがな ( )	性別	歳	よみがな ( )	性別	歳
		よみがな ( )	性別	歳	よみがな ( )	性別	歳
		よみがな ( )	性別	歳	よみがな ( )	性別	歳

**感染予防対策  
について**

- 安心してプログラムに参加いただくために、参加者の皆さまに以下のご協力をお願いいたします。
- 当日は必ずマスク着用、アルコール消毒の実施にご協力をお願いします。
  - 受付時に検温の実施、チェックシート(渡航歴や体調など)の記入にご協力をお願いします。
  - 風邪のような症状がある方は、ご参加をお控えください。
  - 以上の注意事項をお守りいただけない場合は、参加をお断りする場合があります。

※今後の新型コロナウイルス感染症拡大の状況によっては、内容の変更、開催時期の延期または中止とする場合があります。  
※お申込み情報は本事業の運営のみに使用させていただきます。

お問い合わせ  
アートラボぎふ事務局  
受付 9:00～18:00(土日・祝日除く)  
**TEL 0584-71-6133**

お申込み用紙やその他のプログラムはこちらをチェック!



2021年6月15日現在

the 4th **ART**

**LAB**

清流の国ぎふ芸術祭 アート体験プログラム

**アートラボぎふ**

第4回

アナタをひきだすアート体験

**G I F U**

2021 — 2022

「清流の国ぎふ芸術祭」のひとつ、アートラボぎふは、岐阜県各地を舞台にアートに触れ、親しみ、発信できるアート体験プログラム。一流の講師を迎えてアートとの出会いの場(ラボ)として、創造する楽しさ、手仕事の奥深さ、伝統に息づく岐阜の魅力にもアプローチしていきます。4年目を迎えるアートラボぎふで「本物」のアートを体感してみませんか?

### 現代アートの楽しみ方 ーぎふ美術展の自由表現部門とAAICー



AAIC2020大賞作品

2018年に第1回ぎふ美術展を立ち上げたとき、新しい部門として「自由表現」を設けました。これは言わば現代アート部門と言ってもよいもので、アート・アワード・イン・ザ・キューブ展 (=AAIC) と同じジャンルです。現代アートとは、絵画・彫刻はもとより、パフォーマンス、インスタレーション、音楽、演劇、ダンス、ビデオアート、写真、AIなどを自由に取り込んだ総合芸術と言えるでしょう。つまりあらゆるジャンルの垣根を取り払った「今日(こんにち)の芸術」です。現代アートの魅力は、作家にとっては自由な表現であり、鑑賞者にとっては幅広い解釈だと言えるでしょう。今回は、第2回AAICの入賞作品の映像を見ながら「現代アート」を楽しみましょう。

### 洋画実技講座 自画像ー魂の深淵を描くー



せきがはら人間村生活美術館 人間塾

作品を制作する上で、「自分は何者であるか」を知ることはとても重要であり、それぞれが生涯をかけて考えていかなければならない重要なテーマだと言えます。今回は自画像の制作を通じて、自身の内面に潜むアイデンティティに目を向け、「自分らしい表現とは何か」を、共に考えていきたいと思います。

西濃 9/11 (土) 10:30~15:30

会場/せきがはら人間村生活美術館(不破郡関ヶ原町2067 株式会社関ヶ原製作所内)

●料金/1,000円 ●定員/20名 ●持ち物/画材道具(アクリルガッシュ、クレパス、色鉛筆、鉛筆など)※お持ちでない方も参加できます。

講師 遠藤 彰子 Endo Akiko

洋画家・武蔵野美術大学名誉教授・二紀会理事

1969年武蔵美術大卒。86年安井賞受賞/文化庁芸術家在外特別派遣(渡印)。07年平成十八年度芸術選奨文部科学大臣賞受賞(美術部門)。14年紫綬褒章受章。現在、武蔵野美術大学名誉教授、二紀会理事。



### プロの講師がアドバイス! アートのお悩み相談会

11時よりモザイクタイルミュージアムの見学も行います



写真は昨年の講座の様子です

ポートフォリオを見せ、作家としての方向性や制作指導についての相談や、アートを楽しむための多様な見方や視点を相談するなど、アートの世界で活躍する一流の講師がアートに関するさまざまなお悩みにおこたえする、毎年大好評の相談会。参加希望者は事前申し込みの際、相談内容を簡単にお伝えください。講師があなただけの回答を用意します。

東濃 10/31 (日) 13:00~16:45

会場/笠原中央公民館 和室(多治見市笠原町2081-1)

ゲスト/長谷川喜久(日本画家・名古屋芸術大学教授)

●料金/無料 ●定員/10名 ●持ち物/ご自身のポートフォリオまたは質問に必要なもの

講師 立島 恵 Tatejima Kei

佐藤美術館学芸部長

1990年佐藤美術館設立当初より学芸員として運営に参加。公益財団法人佐藤国際文化育英財団の奨学金プログラムの構築、若い作家に対する支援活動、展覧会等を行い今日に至る。



1946年から2015年まで、69回の歴史を刻んだ「岐阜県美術展」は、全国規模の企画公募展「Art Award IN THE CUBE (AAIC)」(2017年・2020年の2回開催)、県民に広く発表機会を提供する「ぎふ美術展」(2018年・2019年の2回開催)、そして年間を通じて県内各地で様々なアートに親しむ「アートラボぎふ」(2018年から毎年開催)の3つの柱からなる「清流の国ぎふ芸術祭」に生まれ変わりました。

4年目を迎える「アートラボぎふ」は、岐阜県全域をアートの実験場(ラボ)に見立て、会場となる「場の力」にもこだわりながら、大人も子どもも県民の誰もがアートに出会い、触れて、知り、発信できる体験プログラムとして、「ぎふ美術展」や「AAIC」への参加にもつながる内容としてご提供していきます。

### 日本画実技講座 岩絵具ニ楽シイ! ニホンガの今を体験!!



写真は昨年の講座の様子です

岩絵具の持つ質感が存分に活かされた描画を楽しんでいただく日本画講座です!今回はただ絵具を描き重ねていくだけでなく、下地効果を表出させる研ぎ出し技法を中心に新たな画面の魅力を引き出していきます。講座終了後には私たち講師陣の作品と参加者の皆さんの作品を合わせてグループ展を開催いたします!こちら是非楽しんでください!

### 写真・自由表現講演会 写真って何だ?/新しい写真の読み方



写真の読み方 初冊から現代までの世界の写真家67人

写真は1820年代に発明され、まもなく誕生して200年を迎えようとしています。19世紀、20世紀、21世紀と、この3世紀に生まれた写真は天文学的な数に及び、写真は人の記憶や経験の礎となり、多様な関係を張り巡らしてきました。特にグローバルネットワークの浸透した20世紀末以降、写真は地上のあらゆる光景を記録する新しい星を生み出してしまったかのようです。このアート体験プログラムでは、写真発明以降、様々な写真家たちが撮影してきたイメージ世界を新たな星に見立て、その光跡を体験してもらいながら、過去や未来を切り開く写真の冒険を探ろうと思います。

飛騨 10/3 (日) 14:00~15:30

会場/高山市図書館 煥章館(高山市馬場町2-115)

●料金/無料 ●定員/20名 ●対象/高校生以上

講師 伊藤 俊治 Ito Toshiharu

美術史家・写真史家/東京藝術大学名誉教授・多摩美術大学客員教授

美術史や写真史を中心に幅広い評論活動を行う。著作に『20世紀写真史』や『ジゴラマ論』などがある。キュレーターとして海外での展覧会も多数企画する。



### 美濃和紙の歴史・文化にふれて、 きつねの仮面を作ろう!



美濃和紙の歴史・文化にふれて、きつねの仮面を作ろう!

和紙工房で美濃和紙の作り方や使い方を教わった後、狐の仮面に和紙を貼り自分だけの仮面を作りましょう!一人一人全然違うアート作品になります。職人が紙のアドバイスをおこないますのでこれを機に物作りや生活に和紙を取り入れてください! 美濃市安毛に古くから伝わる昔話をもとにした「きつねの行列」の和紙の衣装を着て記念撮影も出来ます。



中濃 9/19 (日) 10:30~16:00

会場/太平山 永昌院(美濃市安毛711)・テラダ和紙工房(美濃市蔵生2050-2)

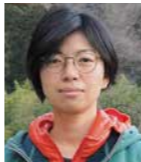
協力/高橋定佑(永昌院副住職)

●料金/1,000円 ●定員/10名

講師 寺田 幸代 Terada Yukiyo

テラダ和紙工房主宰・本美濃紙保存会研修生

幼いころからのづくりが好きで、特に紙に興味をもつ。30歳を機に紙に関する伝統工芸に携わるため2012年に「美濃・手すき和紙基礎スクール」を受講、2013年美濃市に移住。澤村正氏に師事。2017年4月「テラダ和紙工房」設立。「本美濃紙保存会」研修生。



### 彫刻・工芸講演会 チェコの現代ガラスー闘う芸術家たち



チェコの二人の巨匠のガラス・オブジェ、Expo'70, Osaka, 1970

ボヘミアングラスの伝統を誇るチェコは、戦後の現代ガラスにおいても最前線を走り、現代美術としてのガラス芸術の確立に大きな役割を果たしてきました。そのガラス界の巨匠、スタニスラフ・リベンスキーとレネー・ロウビーチェクは1970年大阪万博のパビリオンにおいて巨大なガラスのオブジェを公開し、世界の人々を驚嘆させました。しかしその裏では当時の国家体制との人生を懸けた激烈な闘いの歴史がありました。二人の運命を左右した芸術家魂とは…

チェコの二人の巨匠のガラス・オブジェ、Expo'70, Osaka, 1970

東濃 11/14 (日) 14:00~15:30

会場/美濃焼ミュージアム(多治見市東町1-9-27)

●料金/無料 ●定員/20名

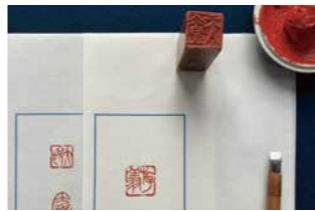
講師 武田 厚 Takeda Atsushi

美術評論家・多摩美術大学客員教授

1966~68年山種美術館学芸員/1968~86年北海道立近代美術館学芸部長/1986~2001横浜美術館学芸部長・副館長/2001年~多摩美術大学客員教授/2005年~富山市ガラス造形研究所顧問



### 篆刻実技講座 古の文字を印に刻む



漢字最古の書体である篆書を石に刻む篆刻(てんこく)。書の歴史を知ること、篆書の書き方を学び、古代からの多様な印を鑑賞・分析することが、より自由な印を作るヒントとなります。文字の調べ方、印刀の使用方法や印面構成のコツ等、篆刻の工程を実演しアドバイスします。印の完成までを体験します。

西濃 11/28 (日) 11:00~16:30

会場/奥の細道むすびの地記念館(大垣市船町2-26-1)

●料金/500円 ※希望の方には道具の販売も行います。 ●定員/10名 ●持ち物/書道用具(硯、半紙用太筆、墨汁、毛氈、文鎮など)※お持ちでない方も参加できます。篆刻の道具は貸し出します。希望の方には道具の販売も行います。

講師 波多野 公一 Hatano Koichi

岐阜県書作家協会

日展会友、読売書法会理事、謹慎書道会常任理事、全日本篆刻連盟理事、岐阜県書作家協会常任理事。深遠な書と篆刻の世界に魅了され研究続けている。



新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からワークショップの様式を再考し、オンラインでの開催、映像アーカイブ、ネット配信による座学、体験講座などを組み合わせ新たなスタイルの体験プログラムを展開しています。

※今後の新型コロナウイルス感染症拡大の状況によっては、内容の変更、開催時期の延期または中止とする場合があります。

ぎふチャンアートギャラリーでグループ展(9/10~10/24)を開催します

岐阜 9/5 (日) 10:00~17:00

会場/ハートフルスクエアG 研修室50(岐阜市橋本町1-10-23)

講師/長谷川喜久(日本画家・名古屋芸術大学教授)  
林 真 福本百恵 帆刈晴日 山守良佳

●料金/1,000円 ●定員/20名  
●持ち物/筆・筆洗(貸し出し可能)・モチーフ(描きたいもの)

講師 長谷川喜久 Hasegawa Yoshihisa

日本画家・名古屋芸術大学教授

日展会員、新日春展会員。加納高校美術科に在学中、初めて日本画に触れ、鉱石などを原料とする岩絵具の質感に惹かれ、今も岩絵具を膠(にかわ)で溶く日々を続ける。



### 写真実技講座 ーBUNTSUー



ぎふ清流里山公園

「写真は想いが伝わる」。写真による文通を通して想いを伝える写真の撮り方を学びます。文通と言っても手紙によるやりとりではなく、テーマにまつわる写真を撮影して交換します。普段見慣れた日常を、新たな視点で観察することにも繋げます。最後には、自分の写真と文通相手の写真で1冊のアルバムを作ります。表紙には講師が撮影したあなたのポートレートを貼り付けます。

中濃 [第1回]12月 [第2回]1月または2月

会場/ぎふ清流里山公園(美濃加茂市山之上町2292-1)

●料金/1,000円 ●定員/10名

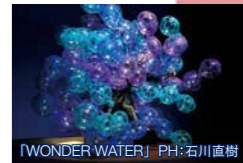
講師 野村 佐紀子 Nomura Sakiko

写真家

九州産業大学芸術学部写真学科卒業。91年より荒木経惟に師事。主に男性の裸体を中心とした独特な世界を探究し続ける。93年より国内外で展覧会をおこなう。主な写真集に「裸/時間」(平凡社)、「黒闇」(Akio Nagasawa Publishing)、「夜間飛行」(リトルモア)など多数。



### WONDER WATER/ ちいさな生きもの研究所



「WONDER WATER」PH:石川直樹

「WONDER WATER」ホワイトアスパラガス(谷口魚、ハチロウ)×ひびのこづえ×川瀬浩介 美しい珠洲の海を表現したダンスパフォーマンスは、全国各地でも大人気!魚やクラゲ、イソギンチャク、海藻などのカラフルな衣装に身を包み、アクロバティックな身体表現とジャグリングで、幻想的な水中の世界を生き生きと描き出します。川瀬浩介の音楽が、その世界をより鮮やかに彩ります。(初演 2017 奥能登国際芸術祭 スズカノ上演数34回) ワークショップ ちいさな生きものプローチ作り ひびのこづえが舞台やテレビの仕事で衣装を作ったときに残ったきれいな生地や衣装の断片を使って、きれいな色の糸でチクタク縫いながら、ちいさな生きものを作ります。絵を描くことや縫い物が苦手でも大丈夫です。

岐阜 [第1回]2022年3/5(土) [第2回]3/6(日)

会場/ぎふ清流文化プラザ(岐阜市学園町3-42)

●料金/ワークショップ:1,000円・パフォーマンス:500円(中学生以下は無料)  
●定員/ワークショップ:30名・パフォーマンス:未定 ●対象/ワークショップ:4歳から大人まで(小学生以下は保護者も参加。付き添いのみの参加はNG)

講師 ひびのこづえ Hibino kodue コスチュームアーティスト

コスチューム・アーティストとして広告、演劇、ダンス、パレエ、映画、テレビなどその発表の場は、多岐にわたる。NHK Eテレ「ほんごであそぼ」のセット衣装を担当。野田秀樹演劇作品の衣装など多数の舞台衣装、森山開次ダンス「サーカス」新国立劇場、「不思議の国のアリス」衣装を担当。「WONDER WATER」をはじめとするダンスパフォーマンスを多数展開中。

